

研究報告書  
(年間)

平成 30年 3月 27日

公益財団法人 がん研究振興財団

理事長 堀田 知光 殿

研究施設 国立がん研究センター中央病院

住 所 東京都中央区築地5-1-1

研究者氏名 上野 尚雄



(研究課題)

がん医科歯科連携推進のための支援ツールの開発と普及に関する研究

平成28年8月5日付助成金交付のあった標記研究課題について研究が終了致しましたので  
ご報告いたします。

## 1) 研究課題名

「がん医科歯科連携推進のための支援ツールの開発と普及に関する研究」 (継続)

## 2) 研究事業の目的と概要

がん患者の口腔に関連するトラブルは、治療中のもとより、治療後も終末期に至るまでの長い期間で高頻度に生じる。口腔の問題は経口摂取や会話の問題に直結し、患者を苦しめQOLを低下させる。このようながん患者の口腔の諸問題への対応として、歯科医療従事者もがん診療チームの一員となつてがん患者さんの口腔を支える「がん医科歯科連携」が重要な役割を担っており、がん診療の現場でその認知は少しずつ広がってきている。

しかし実態としてまだまだ適切ながん医科歯科連携が現場で行われているとは言い難く、「どこの歯科医院を受診すれば良いのかわからない、情報がない」と、口腔の問題を抱えながら適切な歯科を受診できず苦悩しているがん患者は多い。

この問題を解決するためには、がん病院が地域で歯科治療や口腔ケアを担う質の担保された歯科医院と円滑に連携し、口腔の諸問題で苦しむがん患者が適切な口腔管理を享受できる基盤体制を作ることが急務である。

前年度の研究では、インターネット上に、地域で責任を持ってがん治療前からの適切な口腔管理を請け負う、質の担保された「がん連携歯科医院」を検索できる連携支援ツール「歯科連携医療機関検索サイト」を作成し、がん対策情報センターのサーバーに設置した。  
(<http://hospdb.ganjoho.jp/shikarenkei/>)

本研究では前年度の継続事業として、がん医科歯科連携のさらなる推進・円滑化のため、前年度で試験的に運用した連携支援ツール「歯科連携医療機関検索サイト」を、さらに実際の現場で有効に普及させるための効果的な方法を検討し、また実行することを目的とした。

## 3) 研究事業の成果

### 1) 「歯科連携医療機関検索サイト」のブラッシュアップ

前年度に引き続き、がん患者の口腔管理を担う歯科があるがん治療施設に、本検索サイトの試験的運用に協力いただいた。本年度は前年度の8施設にさらに2施設を加えた以下の10施設にご協力をいただいた。

- ・がん研究会 有明病院 (責任者 歯科口腔外科部長：富塚健)
- ・群馬がんセンター (責任者 歯科口腔外科：新垣理宣)
- ・宮城がんセンター (責任者 歯科口腔外科：臼淵公敏)
- ・神奈川県立がんセンター (責任者 歯科口腔外科：光永幸代)
- ・千葉がんセンター (責任者 歯科口腔外科：高橋直樹)
- ・国立がん研究センター中央病院 (責任者 歯科口腔外科：上野尚雄)
- ・国立がん研究センター東病院 (責任者 歯科口腔外科：小西哲仁)
- ・新潟大学歯学部 (責任者 歯科放射線科：勝良剛詞)
- ・放射線医学総合研究所 (責任者 歯科：伊川裕明)
- ・茨城県立中央病院 (責任者 歯科口腔外科：大木宏介)

協力いただいた施設より聴取した問題点、改善点を反映させ、歯科連携医療機関検索サイトの機能向上を行った。

要望でもっとも多かったのが、以下の2点であった。

- ① 操作感の改善、より簡便な操作方法
- ② 地域歯科医院のリスト化

また、運用上の問題として、本検索サイトで使用していた地図情報サービスが有償化する運びとなり、今後も安定した運営のために無償の地図情報サービスへの変更が必要と考えられた。上記を踏まえ、検索サイトの内容を以下のように修正、利便性を向上させた。

### (1) 地図情報サービスの変更による利便性の向上

今後も安定して本検索サイトを活用するために、地図情報を無償で活用できるgoogleを利用できるよう、サイトの内容を抜本的に変更した。この変更により今後も継続して本サイトを無償で使えるようになっただけでなく、実際の検索においても操作性や利便性等の面にあたって以下の改善を得ることができた。

#### ・地図の視認性の向上、操作スピードや反応性の向上

地図が簡略化され、直感的に理解しやすいようになり、また操作の反応もタイムラグなく快適に行えるようになり、煩雑な外来診療中でも患者さんに適切に情報を提供できるようになった(図1)。

#### ・ストリートビューの使用による、視覚情報の増加

通常は地図だけでなく、周辺の風景を実際の写真で確認することが可能となった。そのため地図上のプロットだけでは具体性が乏しく連携歯科医院の選択に迷っていた方も、容易に選択できるようになった(図2)。



図1



図2

### (2) 地域の歯科医院のリスト化

都道府県各地域の連携歯科医院の一覧をリスト化し、閲覧できるように修正した。リストからも各歯科医院の個別情報へリンクすることが可能で、連携歯科医院の選択が容易になった(図3)。

一旦リストを持ち帰り、ゆっくりと検討した上で日を改めて連携歯科を選択するなど、選択の方法に幅ができたことで、より患者のニーズに沿った歯科医院を紹介することが可能となった。

図3

| 連携病院名      | 住所             | 電話番号         | がん | 連携 | 休日 | 診療日 |
|------------|----------------|--------------|----|----|----|-----|
| 富山県立富山中央病院 | 富山県富山市富山町1-1-1 | 076-428-8148 | ○  | ○  | ○  | 月～日 |
| 富山県立富山中央病院 | 富山県富山市富山町1-1-1 | 076-428-8148 | ○  | ○  | ○  | 月～日 |
| 富山県立富山中央病院 | 富山県富山市富山町1-1-1 | 076-428-8148 | ○  | ○  | ○  | 月～日 |
| 富山県立富山中央病院 | 富山県富山市富山町1-1-1 | 076-428-8148 | ○  | ○  | ○  | 月～日 |
| 富山県立富山中央病院 | 富山県富山市富山町1-1-1 | 076-428-8148 | ○  | ○  | ○  | 月～日 |
| 富山県立富山中央病院 | 富山県富山市富山町1-1-1 | 076-428-8148 | ○  | ○  | ○  | 月～日 |
| 富山県立富山中央病院 | 富山県富山市富山町1-1-1 | 076-428-8148 | ○  | ○  | ○  | 月～日 |
| 富山県立富山中央病院 | 富山県富山市富山町1-1-1 | 076-428-8148 | ○  | ○  | ○  | 月～日 |
| 富山県立富山中央病院 | 富山県富山市富山町1-1-1 | 076-428-8148 | ○  | ○  | ○  | 月～日 |
| 富山県立富山中央病院 | 富山県富山市富山町1-1-1 | 076-428-8148 | ○  | ○  | ○  | 月～日 |

### 2) 「歯科連携医療機関検索サイト」普及のための事業

前年度の研究事業の結果として、「歯科連携医療機関検索サイト」は非常に有用であると思われる反面、その情報

を一般に公開することは、がん連携歯科での混乱が懸念されること(受診患者の急増、適切な診療情報提供書を持参しない患者の問題など)が不安視されていた。

平成29年2月15日、日本歯科医師会においてがん医科歯科連携の推進について討議を行う「がん診療医科歯科連携協議会」が開催された。円滑ながん医科歯科連携の推進に有用である「歯科連携医療機関検索サイト」による各地域のがん連携歯科医院の詳細情報の開示につき、前年度研究からの問題を緩和するために以下の2点の方法をもって普及拡大に努めることが決定された。

#### (1) がん相談支援センターへの情報提示

国指定のがん診療拠点病院の地域連携を担う部署(がん相談支援センターなど)に、「歯科連携医療機関検索サイト」についての情報(URL)、使用方法をお伝えし、活用いただくこととした。情報提供範囲の拡大に伴い、各連携歯科医院で懸念される現場の混乱を可及的に抑えるために、がん連携歯科医院を実際に患者さんにご紹介する際には、以下の3点にご留意いただくよう申し添えることとした。

- ・お伝えの際には「連携マップの適正使用、顔の見える連携のために、地域の歯科医師会との事前の打ち合わせをお勧めします」という文言を添えさせていただく
- ・当面は院外持ち出し禁止とし、施設内だけでご使用いただく
- ・実際に連携歯科医院をご受診いただく際は、所定のフォームによる診療情報提供書を必ず患者さんに持参していただく

歯科医師会では2018年1月の全国会議で各都道府県歯科医師会の関係部署に上記についての最終周知を行い、2018年5月以降に全国のがん診療拠点病院への情報提供を行うこととなった。

#### (2) 関連学会からの情報提示

医科系のがん関連学会に、「歯科連携医療機関検索サイト」についての情報(URL)、使用方法をお伝えし、会員専用ホームページへのリンクおよびニュースレターなどによる情報提示を行なっていただくこととした。現時点で日本放射線腫瘍学会から内諾を頂いており、今後も「がん診療医科歯科連携協議会」を通して、日本臨床腫瘍学会、日本がん治療学会、日本緩和医療学会に同様の情報提示をお願いしてゆくこととなった。

### 4) まとめ、今後の展望

がん対策推進基本計画(第3期)の全体目標にある「尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築、がんになっても自分らしく生きることのできる地域共生社会」の実現には、いつでも、どこでも、どんな状態でも必要な医療支援を受けることができる環境の整備が必要不可欠である。

口腔の問題を解決するためには、その専門である歯科医療従事者の介入は必要不可欠である。しかし、小さなお口の困りごとでも、がんであるという理由だけで地域の歯科での治療が受けられない、拒否されるという事態がまだまだ散見されており、早急な解決が求められている。

がん患者が住み慣れた地域社会で生活をしていく中で、いつでもどこに居ても、安心して必要な歯科的支援を受けることができる地域共生社会の構築に、本研究によって整備された連携支援ツール「歯科連携医療機関検索サイト」は非常に有用であると思われた。

今後の展望として、「がんになってもお口のことで困らない、安心して地元の歯科医院を受診できる地域共生社会の実現」のために

- 1) 受け皿たる地域の連携歯科医院のさらなる増加と、質の向上
- 2) 医師、看護師はじめ、がん治療側の認知の拡大
- 3) 患者・家族側への情報提示

の3点をさらに充実させてゆきたいと考えている。